

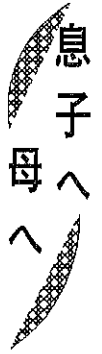
川崎市子ども会連盟 ボーイスカウト川崎地区協議会

川崎市青少年育成連盟

ガールスカウト川崎市連盟

川崎海洋少年団

家族、ふれあい、そして発見



息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。

息子がボーイスカウトに入ってから

息子がボーイスカウトに入ってから、五月の連休に、元住吉から三浦海岸(劍橋)へ二泊三日でサイクリングに行っている。家族は、息子が参加している。息子は、どこか声がかたがたか「空耳かな」という感じで一生懸命ベタケを踏み、私達の前から走りかきました。主人は「健太がそんなに頑張っているのだから、早く帰っておいしいう物を作って待っていてあげよう」と、家路を急ぎました。



ある第2土曜日・遊びの広場風景

私達の仲間は大縄遊びを持って

私達の仲間は大縄遊びを持って、お正月には服の材料を持って行き、子ども達といっしょに作って服上げもやりました。呼びかけたにもかかわらず、遊びに来る子は少なかったのです。遊びの広場には、この二年間で三割弱しか遊びに来ていない。その中、8割が楽しい、四割がまあまあ、残り一割がつまらないと答えられています。

私達は、その一割が「遊びの広場に来てよかった」と言うように

私達は、その一割が「遊びの広場に来てよかった」と言うように遊び方を教えたいと思っています。が、その前に「親子で一緒に遊びませんか?」と呼びかけています。家庭によって子の過し方がまちまちなのは当然ですが、せつかく開放されている校庭、時間があつた時には是非一緒に遊びに来て欲しいと願っています。

開東大震災の火の恐ろしさ。空襲で焼け野原になった町では

開東大震災の火の恐ろしさ。空襲で焼け野原になった町では、刃りがよく見渡せたこと。若い頃本を読むのが好きだったこと。アルナ園に来た時は動かなかった指もリハビリでクラフトができるまでになったことなど。そして、うれしそうなお孫さんの写真を説明して下さるおとしより。家族を大切に思う気持ちがある家族にも伝わってくる。

各家族でおとしよりと接する機会

各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

おとしよりのふれあいのなかから

おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

おとしよりのふれあいのなかから

おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

おとしよりのふれあいのなかから

おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

おとしよりのふれあいのなかから

おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

おとしよりのふれあいのなかから

おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

おとしよりのふれあいのなかから

おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

2年前、川崎市教育委員会が子どもの生活などに関する調査を行

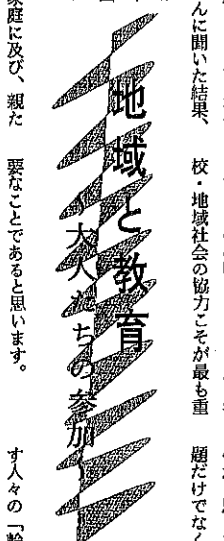
います。2年前、川崎市教育委員会が子どもの生活などに関する調査を行

います。2年前、川崎市教育委員会が子どもの生活などに関する調査を行

います。2年前、川崎市教育委員会が子どもの生活などに関する調査を行

います。2年前、川崎市教育委員会が子どもの生活などに関する調査を行

います。2年前、川崎市教育委員会が子どもの生活などに関する調査を行



地域と教育

地域の大人たちが一緒に子育てをすることが、子どもたちの成長に大きく影響しています。おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

地域の大人たちが一緒に子育てをすることが

地域の大人たちが一緒に子育てをすることが、子どもたちの成長に大きく影響しています。おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

地域の大人たちが一緒に子育てをすることが

地域の大人たちが一緒に子育てをすることが、子どもたちの成長に大きく影響しています。おとしよりのふれあいのなかから、各家族でおとしよりと接する機会が少ないスカウトたちが、奉仕活動を通しておとしよりのたゆみたりとした生活のペース、動作、行動を自然に肌で感じること。そして、聞いたこと・感じたこと、考えたことを「おねえええ!」と家に持ち帰る。「ふん、そうだったんだ」と迎えてくれる家族がいる。おとしよりのふれあいの中で成長するスカウトと、それをささげる家族。このさわやかなかわりをいつまでも大切にしたいと願っています。

「日本ジャンボリ 開催される」

来る八月三日より、七日まで、大分県久住山の久住高原に於て、四年に一度開かれる、第十四回日本ジャンボリが開催される。日本

川子連JL委員会による研修会が、去る三月二十六、二十七日に黒川青少年野外活動センターで開催された。

今年度新設されたばかりのJL委員会は、ジュニアリーダー育成に向けて毎月定例会をもって論議を重ね、基本構想、活動方針や運営、活動計画などの策定を進めて

「七中会」JL委員研修会

今年度の研修は、その試みの一つ。いわばJL委員会が力強い活動の第一歩を踏み出したものといえる。

参加した中・高校生は、楽しみながらその使命を自覚し、リーダーとしての資質向上に努める真剣な態度で研修を終えた。

川子連の若々しいリーダーが、それぞれの子どもの前に姿を見せるだろう。

つくしん子の集い



「良いパトロールリーダーになる」ため一泊二日の訓練研修が行われる。場所は市立青少年の家。六年生になって、パトロールリーダーとしてのリーダーシップを発揮し、ガールスカウト活動をより楽しくするにはどうしたらよいか。一人ひとりの意見を出し合ったり、テーマを決めてディスカッションなどすると活発な意見も出ます。

ロープを使って木と木の間に洗たく物を干すゲームをしたり、ねん座した時の救急法、旗の扱いや行進、笛の合図での整列のしかたや並ぶ方の訓練。また、この合間をみては歌を唄ったりするうちに、たよさんの友達もできて張り上げ、グループの輪ができていきます。

五年生だけの一泊二日の研修会、楽しい思い出に、ぜひ積極的にチャレンジしてみたいかが。

「ボーイスカウト 六年度登録」

日本ボーイスカウトに於て、毎年二月の月に、次年度の新人入団者を含め、登録業務を行い、川崎市内全体的な名簿を作成します。前年同期より、若干の減少傾向が見られました。六年度は市内全域に渡り隆盛を願い、各団に於て隊員募集月間を設けて、大きく募集回数を増やしています。

子供達にとって、野外に出て大きな自然とふれあい、友達たちとまたあふあふ場が沢山あります。歌、ゲームを楽しんで見ませんか。参加してみませんか。

水は、世の全てに對し常に大切なものです。まず、人は昔から水で家を建てた。木の葉で日々の生をつなぎ、土で畑や家の礎を築き、灯をともし、鋼で硬い物を切り生を造っていた。これが一つでも欠けていたなら、現代はありえないでしょう。

身近な水を知ろう

水は、世の全てに對し常に大切なものです。まず、人は昔から水で家を建てた。木の葉で日々の生をつなぎ、土で畑や家の礎を築き、灯をともし、鋼で硬い物を切り生を造っていた。これが一つでも欠けていたなら、現代はありえないでしょう。

なかでも水は必要不可欠です。なぜなら、水や土と同じく、生命に直に関わってくるからです。しかし、今そのバランスは、われわれ人間により大きく崩れつつあります。

ボーイスカウト 新年の集い

去る、一月二十二日(土)川崎地区協議会、二十五団の指導者が一同に会し、山田利雄先生の乾杯でニューイヤーパーティーが盛大に行なわれた。特に今年度は友情と奉仕を約し楽しい内に、二時間三十分



「足の内側にしっかりと力をいれて、怖がらずに滑る。」と叫びながらスキーを教える。川崎海洋少年団の毎年恒例になった、年末のスキー合宿の一場面。

毎年、同じようなことを教えているが、一年経ると滑り方を忘れるようである。滑り方を思い出すまでには時間がかかる。

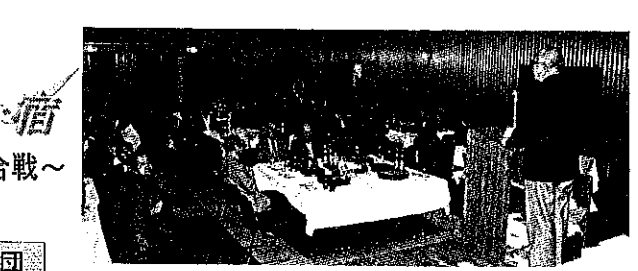
スキーを滑りに来たのに、団員は、すぐに飽きてしまうので、休憩を取る。じっとしていられない団員は、雪で何やら遊び始める。何をしているかと思っていると、雪だるまを作ったり、スキーウェアのまま坂を滑り降りている。雪を使った遊びを次々と発明する、子供

「足の内側にしっかりと力をいれて、怖がらずに滑る。」と叫びながらスキーを教える。川崎海洋少年団の毎年恒例になった、年末のスキー合宿の一場面。

毎年、同じようなことを教えているが、一年経ると滑り方を忘れるようである。滑り方を思い出すまでには時間がかかる。

スキーを滑りに来たのに、団員は、すぐに飽きてしまうので、休憩を取る。じっとしていられない団員は、雪で何やら遊び始める。何をしているかと思っていると、雪だるまを作ったり、スキーウェアのまま坂を滑り降りている。雪を使った遊びを次々と発明する、子供

スキー合宿



「足の内側にしっかりと力をいれて、怖がらずに滑る。」と叫びながらスキーを教える。川崎海洋少年団の毎年恒例になった、年末のスキー合宿の一場面。

毎年、同じようなことを教えているが、一年経ると滑り方を忘れるようである。滑り方を思い出すまでには時間がかかる。

スキーを滑りに来たのに、団員は、すぐに飽きてしまうので、休憩を取る。じっとしていられない団員は、雪で何やら遊び始める。何をしているかと思っていると、雪だるまを作ったり、スキーウェアのまま坂を滑り降りている。雪を使った遊びを次々と発明する、子供

「足の内側にしっかりと力をいれて、怖がらずに滑る。」と叫びながらスキーを教える。川崎海洋少年団の毎年恒例になった、年末のスキー合宿の一場面。

毎年、同じようなことを教えているが、一年経ると滑り方を忘れるようである。滑り方を思い出すまでには時間がかかる。

スキーを滑りに来たのに、団員は、すぐに飽きてしまうので、休憩を取る。じっとしていられない団員は、雪で何やら遊び始める。何をしているかと思っていると、雪だるまを作ったり、スキーウェアのまま坂を滑り降りている。雪を使った遊びを次々と発明する、子供

第31回 指定都市育成研究協議会 川崎市で開催

来る11月26、27日の両日、指定都市育成研究協議会が中原市民館を主会場に開催される。10年前にも川崎市で開催されたが、今回は新しい時代を視野においた論議が展開されるだろう。

交流ふれあいそして発見 第2弾

ガールスカウト川崎市連絡会は、ボルチモア市GSとの交流を目的に3月26日、交流団を派遣した。これまで川崎市の友好都市であるリエカ、ウーロンゴンへも派遣の経験もあり、その成果が目目される。

団長・声垣会長さん他九名は4月3日帰国。

雪合戦も飽きると、またスキーを始める。さっきよりは、うまく滑る。ようやくスキーの楽しさがわかってきたのか。今年の収録は、スキーの滑り方が消費税並の三割ぐらいは、うまくいったことだ。

雪合戦も飽きると、またスキーを始める。さっきよりは、うまく滑る。ようやくスキーの楽しさがわかってきたのか。今年の収録は、スキーの滑り方が消費税並の三割ぐらいは、うまくいったことだ。

第31回 指定都市育成研究協議会 川崎市で開催

来る11月26、27日の両日、指定都市育成研究協議会が中原市民館を主会場に開催される。10年前にも川崎市で開催されたが、今回は新しい時代を視野においた論議が展開されるだろう。

ミニ情報

第36回 子ども遊園会

五月五日、向ヶ丘遊園地で五月五日(土)の日は毎年、向ヶ丘遊園地で「子ども遊園会」が開かれます。

その日は川崎市青少年育成連盟に加盟四団体が活躍する日。

●募金活動 5/5子どもの日、向ヶ丘遊園「子ども遊園会」会場。

●合宿訓練 黒川野外活動センター。4/9、10の一泊二日。

●初夏の海と遊ぶ 5/24 川崎港から木更津へ行き潮干狩り。



編集後記

今回発行の九号は、家族、そしてふれあいをテーマに各団体の皆様に寄稿を呼びかけ、ある出来ごとの中で、ふれあい、また、家族としての、いろいろの思いやり等を掲載することが出来ました。早速事務局始め皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。尚、前述テーマ継続させて頂き、ホットな出来ごと、家族としての失敗談、体験等の寄稿を募ります。

(町田 聡)